

ブラジル金融政策（2020年3月）

0.50%ポイントの利下げ

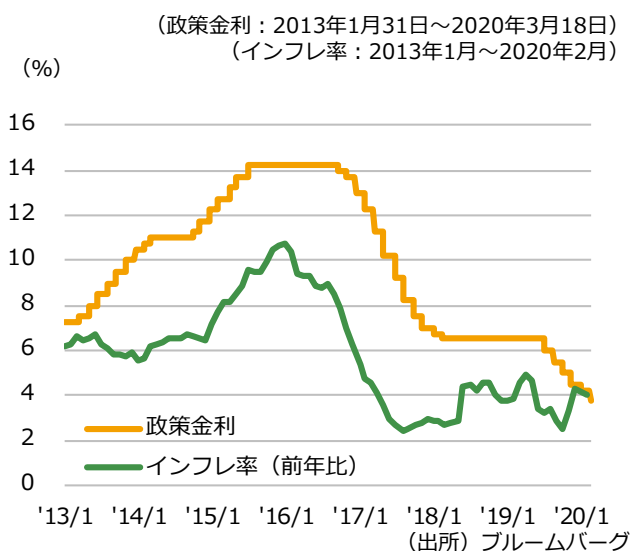
2020年3月19日

新型コロナウイルス問題に対して追加利下げで対応

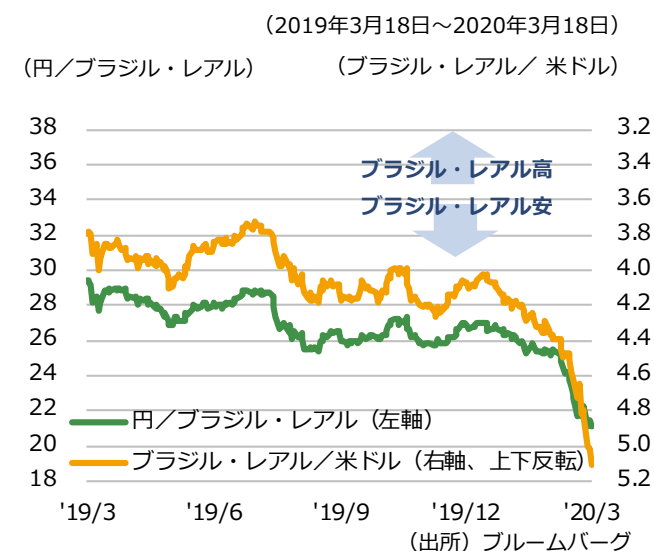
ブラジル中央銀行は3月18日（現地）、全会一致で政策金利を4.25%から3.75%に引き下げました。中央銀行は前回会合で利下げサイクルの終了を示唆していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、追加利下げを実施しました。声明文では、新型コロナウイルスの流行が世界経済の大幅な減速を招き、商品価格の下落や、資産価格の変動率の高まりにつながっていると述べられています。また、2020年のインフレ見通しについては前回会合からやや鈍化させました。今後の金融政策については、2019年央から続けてきた一連の利下げの効果が遅れて出てくることを踏まえながらも、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に景気悪化リスクが高まっていることから、次の措置はさらなる経済データ次第としています。

足元のブラジルでは、一連の利下げ効果によりファンダメンタルズは回復基調にありますが、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的な景気減速懸念が高まっています。市場のリスク回避姿勢が強まったことで新興国通貨は軒並み全面安の展開となっており、また資源価格も下落していることからブラジル・リアルは対円、対米ドルともに最安値圏で推移しています。しかし、ブラジルは潤沢な外貨準備を有するなど対外ぜい弱性は高くなく、感染拡大が収束すれば景気下押し圧力の反動も予想されるため市場は落ち着いていくと考えています。それでも目先は、感染拡大が収束するまでの時間軸や経済への影響などの不透明感は強く、新興国に対する資金流出懸念に注意を要します。当面は、感染状況や世界経済への影響を注意深く追っていく必要があります。

政策金利とインフレ率の推移



為替の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management